

# 「指導と評価の一体化」のための

## 学習評価に関する参考資料（小学校 音楽）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

### ○掲載項目（事例4）

- 1 題材の目標
- 2 各観点の評価規準の作成について
- 3 題材の評価規準の設定
- 4 指導と評価の計画
- 5 観点別学習状況評価の進め方
  - ①～⑧主体的に学習に取り組む態度の評価
  - ⑧指導に生かす主体的に学習に取り組む態度の評価

掲載事例以外の題材でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

### ○活用ガイドのポイント

- ・観点別学習状況評価の進め方を詳しく解説（1～5）
- ・主な学習活動と評価方法及び評価のポイント（①、②、③）
- ・「十分満足できる」状況と判断された児童の例（④、⑤）
- ・「努力を要する」状況と判断された児童の例（⑥、⑦）
- ・指導に生かす評価について図解（⑧）

# 小学校 音楽科 事例を通じた評価の具体例

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 P80～86

音楽科 事例4

キーワード 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

題材名

「地域の祭り囃子に親しもう」  
(第3学年)「B 鑑賞」

内容のまとめ

【第3学年及び第4学年】  
(1)鑑賞 及び 【共通事項】(1)

## 1 ※題材の目標

※単元ではなく題材

- (1) 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付く。
- (2) 祭り囃子の音色、リズム、速度、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、祭り囃子の音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。
- (3) 祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に祭り囃子の鑑賞の学習活動に取り組み、地域の祭り囃子に親しむ。



【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料p80】

## 2 各観点の評価規準作成のポイントについて ～小学校編～

思考・判断のよりどころとなる要素はできるだけしぼる。また、工夫する要素ではない

- 「知識・技能」
  - ・「技能」については、「B鑑賞」の題材では設定しない。
  - ・授業の中で扱わないのであれば、表記しないこともある。(知識のみの内容等)
- 「思考・判断・表現」
  - ・【共通事項】アに関する内容は、その題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる要素(音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, 和音の響き, 音階, 調, 拍, フレーズ, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化, 音楽の縦と横との関係など)を選択する。

※音楽を形づくっている要素はここに記載されているもの以外を扱ってもよい。  
例 はじめ・なか・おわり

- 「主体的に学習に取り組む態度」
  - ・「楽しみながら」の部分は、「主体的・協働的」に係る文言であり、「楽しみながら」取り組んでいるかを評価するものではない。
  - ・文頭部分には、その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとするために必要となる、興味・関心をもたせたい事柄に関して記載する。

### 3 題材の評価規準の設定

粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする ために必要となる、興味・関心をもたせたい事柄に関して記載する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p><b>知</b> 祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて気付いている。</p> <p>※「技能」については、「B鑑賞」の題材では設定しない。</p>	<p><b>思</b>① 祭り囃子の音色、リズム、速度、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p><b>思</b>② 祭り囃子の音色、リズム、速度、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p><b>態</b>① <u>祭り囃子の音楽の特徴などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</u></p>

第1時から第3時までの、本題材の学習活動への取組状況について、総括的に評価することとしている。(記録に残す評価としては第3時)

【「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料p80】

# 4 指導と評価の計画(3時間)

時間	◎ねらい ○主な学習内容	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	◎祭り囃子の音楽の特徴に興味をもち、祭り囃子の学習についての見通しをもつ。〈本時のめあて〉祭り囃子って何だろう？  ○「祭り囃子はどんな音楽だろう」という疑問から、「葛西囃子」を聴く。 ○東京の「葛西囃子」を紹介した手紙から、静岡の祭り囃子についても、知りたい、紹介したいという願いをもつ。			行動観察
2	◎児童が住んでいる地域に伝わる祭り囃子(「静岡浅間神社祭礼囃子」)の締太鼓や面踊りの体験を通して、地域の祭り囃子の音楽の特徴に気付く。〈本時のめあて〉静岡の祭り囃子の面白さのひみつを見つけよう。  ○地域の保存会の人演奏や話を聴き、音楽の特徴に気付く。 ○締太鼓や面踊りの体験を通して曲想の変化を感じ取ったり音楽の構造を捉えたりする。 ○口唱歌や締太鼓、面踊りの体験を通して実感した、静岡の祭り囃子の音楽の特徴をワークシートに書く。	行動観察	発言・記述	
3	◎静岡の祭り囃子(「静岡浅間神社祭礼囃子」)の音楽の特徴について気付いたことを伝え合うとともに、音楽や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。〈本時のめあて〉静岡の祭り囃子のよさを紹介しよう。  ○静岡の祭り囃子の体験を振り返り、音楽の特徴について気付いたことを伝え合う。 ○静岡の祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、その内容を伝え合う。 ○祭り囃子の音楽の学習を振り返り、友達の意見を聴いてなるほどと思ったことや、最初に聴いた時と比べて聴き方が変わったことなどを書く。	観察 (表情・行動) 発言・記述	観察 (表情・行動) 発言・記述	観察 (表情・行動) 発言・記述

第1時で祭り囃子の音楽の特徴への関心をもつことができるようにする

# 5 観点別学習状況評価の進め方

本題材の「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、評価規準に照らし、祭り囃子の音楽の特徴(曲想及びその変化と、楽器の音色、リズム及び速度とそれらの変化などとの関わり)などに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている学習状況を評価していくものである。その際、次の2つの側面を評価することが求められる。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

評価を学習の改善や指導の改善に生かす

観察によって「努力を要する」状況(C)と判断されそうな児童の学習状況を継続的に把握し、学習の改善に向けて丁寧に児童に働きかける

児童の観察、発言の内容とワークシートの記述内容とを関連付けながら総合的に検討し、観点別の学習状況を記録に残すことにつなげることが肝要である。

学習の調整のプロセスは、児童一人一人の特性があることから、特定の型に沿った学習の進め方を一律に指導することがないよう配慮する。

# ①「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

## ○学習内容、活動と評価方法等

評価を学習の改善や指導の改善に生かす

	○学習内容 ・学習活動	◇評価場面と方法 ・見取りのポイント →改善のための働きかけの例
第1時	<p>○「祭り囃子はどんな音楽だろう」という疑問から、「葛西囃子」を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような場面で聴こえてくる音楽なのかを想像しながら、「葛西囃子」を聴き、気付いたことを発表する。</li> <li>・「葛西囃子」で使われている和楽器とその音色に気を付けて鑑賞する。</li> <li>・「葛西囃子」の曲想及びその変化と、和楽器の音色、リズムとの関わりについて気付いたことを発表する。</li> <li>・「葛西囃子」の音楽を聴いて、分かったことをワークシートに書き、その内容を伝え合う。</li> </ul> <p>○東京の「葛西囃子」を紹介した手紙から、静岡の祭り囃子についても、知りたい、紹介したいという願いをもつ。</p>	<p>◇「祭り囃子はどんな音楽だろう」という疑問から、「葛西囃子」を聴く場面では、音楽の冒頭の部分を聴いたときに、集中して聴こうとしているかなどについて観察から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音や声を立てず、音楽の始まる瞬間に意識を向けているか。</li> <li>・どのような音楽なのかについて、興味をもって聴いているか。</li> <li>・感じたことをワークシートに書こうとしているか。</li> </ul> <p>→書くことを苦手としている児童には、「にぎやか」「楽しい」「明るい」「かなしい」「やさしい」など、掲示した「音楽の感じを表す言葉」の中から言葉を選んで書くように促す。</p> <p>◇祭り囃子について、学習したいことをワークシートに書く場面では、静岡の祭り囃子についても知りたい、紹介したいという願いをもっているかについて発言や記述内容から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題材を通じた目標や見通しをもとうとしているか。</li> </ul> <p>→児童の意識が祭り囃子に向くように、次時の最初に課題を明確に提示して、学習の方向を修正できるようにする。</p>

※「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、ある場面に限定して実施するのではなく、題材を通じて行い、それを学習の改善や指導の改善に生かすとともに、観点別の学習状況を記録に残すことにつなげていくことが重要である。

## ②「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

評価を学習の改善や指導の改善に生かす

	○学習内容 ・学習活動	評価場面と方法・見取りのポイント
第2時	<p>○地域の保存会の人演奏や話を聴き、音楽の特徴に気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡の祭り囃子「四丁目」を保存会の人による生演奏で聴く。</li> <li>・保存会の人から、歴史のある静岡の祭り囃子がどのように伝承されてきたかについて話を聞く。</li> </ul> <p>○締太鼓や面踊りの体験を通して曲想の変化を感じ取ったり音楽の構造を捉えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・締太鼓の口唱歌を覚えて、基本のリズムを演奏したり、「四丁目」を聴きながら面踊りをしたりする体験を通して、「打ち込み(はじめ)」「はやし(なか)」「あげ(おわり)」という仕組みでできていることを実感する。</li> </ul> <p>○口唱歌や締太鼓、面踊りの体験を通して実感した、静岡の祭り囃子の音楽の特徴をワークシートに書く</p>	<p>◇保存会の人演奏や話を聴く場面では、「静岡の祭り囃子の面白さのひみつを見つけよう」という課題を把握して学習に取り組もうとしているかについて、児童の観察から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して静岡の祭り囃子を聴いているか。</li> <li>・どのように伝承されてきたのかについて、興味をもって話を聞いているか。</li> </ul> <p>◇面踊りと締太鼓の体験活動の場面では、観察を中心に、ワークシートの記述内容も補完的に用いながら評価する。その際、知識の評価との関連を図るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口唱歌を覚えて、楽しんで締太鼓のリズムを打ちながら、音楽の特徴を捉えようとしているか。</li> </ul> <p>→児童が体験に集中できるように、保存会の人演奏のまねをさせたり、待っている間も音楽に注意を向けている児童の姿を紹介し、そのような学びの姿を他の児童に広げたりする。</p>

### 【児童の反応やワークシートの記述例】

- ・しめ太こは、はやし(なか)の部分で、「天ツクツクツ テレツクツ」という、口しょうがのリズムをくり返してえんそうすることが分かった。
- ・あげ(おわり)になると、ゆっくりになって面おどりもおじぎをして下がるのが分かった。



## ③「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

	○学習内容 ・学習活動	評価場面と方法・見取りのポイント
第3時	<p>○静岡の祭り囃子の体験を振り返り、音楽の特徴について気付いたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡の祭り囃子の音楽を聴きながら、前時の体験学習を振り返り、音楽の特徴(祭り囃子の曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりなどについてグループで話し合う。</li> <li>・指揮のように指で拍をとりながら、速度やリズムの変化を捉える。</li> <li>・音楽の特徴など気付いたことについて学級全体で伝え合い、その特徴に着目しながら味わって聴く。</li> <li>・前回の学習では、気付かなかった特徴に着目して、祭り囃子の音楽や演奏のよさを見いだす。</li> </ul> <p>○静岡の祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、その内容を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流したことを生かして、紹介文をつくり意見交換する。</li> <li>・よさの気付きを深めるため、聴き確かめたり全体を味わって聴いたりする。</li> </ul> <p>○祭り囃子の音楽の学習を振り返り、友達の意見を聴いてなるほどと思ったことや、最初に聴いた時と比べて聴き方が変わったことなどを書く。</p>	<p>◇静岡の祭り囃子の体験を振り返り、音楽の特徴について話し合う場面では、静岡の祭り囃子を紹介するという目的意識をもったり、これまでの学習を生かしたりして鑑賞の学習に取り組もうとしたりしているかについて、発言の内容、観察(表情・行動)から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習や体験と関連付けながら聴こうとしているか。</li> <li>・友達の発言を聞いて、うなずいたりあいづちを打ったりするなど反応しているか。</li> </ul> <p>→友達の発言をよく聞くなどして、前時までの学習を思い出すよう促す。</p> <p>◇祭り囃子のよさを伝える紹介文を書き、伝え合う場面では、今まで学んだこと(ワークシートや板書)を生かして書こうとしているかについて、発言の内容、観察(表情・行動)や、ワークシートの記述から評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習のワークシートや板書を見ながら、ワークシートに記入をしているか。</li> </ul> <p>→前時までのワークシートの記述や板書の内容を確認させ、考えるように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分と友達の紹介文を比較し、音楽のよさについて考えを見直したり深めたりしているか。</li> </ul> <p>◇授業の終末に、これまでの学習の振り返りを書く場面では、友達から学ぼうとしていたか、聴き方が深まったことを自覚できているかについて、本時の振り返りの記述から評価する。</p>

【児童のワークシートの記述例】・しずおかの祭りばやしは、楽しくてどんどんもり上がる音楽です。どうしてかという、しめ太このリズムがどんどんかわって、速くなっていくからです。

【「指導と評価の一体のための学習評価に関する参考資料p84」

# ④「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

「十分満足できる」状況(A)と判断された児童の例

a児

P84~  
P85

## 【音楽ワークシート】

月日	学習のめあて	学習に対するふりかえり	先生のサイン
(第1時)	まつりばやして何だろう？	祭りばやしのことでもっと知りたいと思ったことや、やってみたいと思ったことを書きましょう。 しずおかのまつりばやしは、どういうリズムやがっきを使っているのか知りたい。 かねをやってみたい。	葛西囃子の鑑賞を生かして、比較するために知りたいことを書いている。
(第2時)	静岡のまつりばやしの面白さのひみつを見つけよう。	①静岡の祭りばやしは、どんな音楽でしたか？ 4月のおまつりでみんなが楽しくなるようにつかわれる音楽。どんどんにぎやかになる。 ②体験をしたり、話をきいたりして、わかったことを書きましょう。 天ツクツツ テレツクツ のリズムを口唱歌をおぼえて打つ。しめだいこを打つときは、おさえずはじくように打つといい音がでる。ツクの所で大太こが入っている。	保存会の人の話と自分が感じたことを結びつけながら考えている。  保存会の人の打つ姿をよく観察して体験している。
(第3時)	静岡のまつりばやしのよさをしょうかいしよう。	①今まで学んだことを思い出して、静岡の祭りばやしをしょうかいする文を書きましょう。 静岡のまつりばやしのよさは、 <b>どんどん楽しくなってきたおどりたくなる音楽</b> です。 どうしてかというとしめだいこのリズムがくりかえすだけでなく、ちがうリズムも入ってきて、 <b>どんどんはやくなるからです。そして、4つのがっきがかさなって楽しくなっていきます。</b> ②じゅぎょうで、友達のいけんをきいてなるほどと思ったことや、さいしょにまつりばやしをきいた時と感じ方が変わったなと思うことがあれば、書きましょう。 dさんの音の強さもかわっているという見をきいて、そこにも楽しさがつまっているんだと分かった。ほぞん会のみなさんは、まつりに来た人が楽しい気分になってくれるようにえんそうしてくれているんだと感じた。	友達との対話を通してたくさんよさを発見したa児は、そこに保存会の人の思いも詰まっていることに気付いていった。

ワークシートの記述内容(吹き出し部分は、そこから教師が読み取ったこと)、表情や行動の観察、児童の発言から、継続的に把握したものである。

【「指導と評価の一体のための学習評価に関する参考資料p84~P85】

## ⑤「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

## 「十分満足できる」状況(A)と判断された児童の例

第1時	a児は、祭り囃子の音楽に関心をもち、「葛西囃子」の鑑賞や紹介文から、自分の地域の祭り囃子について今までの生活経験からどのような音楽か想起したり、自分の地域の祭り囃子について知らないことがあることを認識したりしている発言が多い。ワークシートから静岡の祭りでは、「どのようなリズムや楽器が使われているのか」ということに興味をもち、「葛西囃子」と比較しながら聴きたいという思いが感じられる。
第2時	締太鼓の体験を待っている間も、友達の音に合わせて締太鼓を打つまねをしたり、保存会の人々の演奏の様子をじっくりと見たりしている。締太鼓の口唱歌に興味を示すだけでなく、自分の打つ締太鼓の音と保存会の人々が打つ音の違いに気付き、どのように打つとよい音がするのか考えながら体験していることがワークシートからも読み取れる。
第3時	「どんどん楽しくなってきた」と感じる根拠を、締太鼓のリズムや速さからだけでなく、他の楽器の音の重なりからも考えている。さらに、友達の意見のよさを理解し、自分の意見と比較しながらさらに曲のよさを見いだそうとして、協働的な学びによって自分の感じ方が深まったということを自覚している。また、保存会の人々の思いまで考えながら聴き味わっている。 これらに示したa児の学習状況は、 <u>評価規準に照らして、学習が質的に高まった状況と考え、最終的に「十分満足できる」状況(A)と判断した。</u>

## a児の記載

しずおかのまつりばやしは、どういうリズムやがっきを使っているのか知りたい。かねをやってみたい。

①4月のおまつりでみんなが楽しくなるようにつかわれる音楽。どどんにぎやかになる。

②天ツクツクツ テレツクツのリズムを口唱歌をおぼえて打つ。しめだいこを打つときは、おさえずはじくように打つといい音がでる。ツクの所で大太こが入っている。

①しめだいこのリズムがくりかえすだけではなく、ちがうリズムも入ってきて、どどんはやくなるからです。そして、4つのがっきがかさなって楽しくなっていきます。

②はさんの音の強さもかわっているという見をきいて、そこにも楽しさがつまっているんだと分かった。ほぞん会のみなさんは、まつりに来た人が楽しい気分になってくれるようにえんそうしてくれているんだと感じた。

# ⑥「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

観察によって「努力を要する」状況(C)と判断されそうな児童の例

b児

P84～  
P85

## 【音楽ワークシート】

月日	学習のめあて	学習に対するふりかえり	先生のサイン
(第1時)	まつりばやして何だろう？	祭りばやしのことでもっと知りたいと思ったことや、やってみたいと思ったことを書きましょう。 おまつりにいってみたい。 わなげ 金魚すくい しゃてき	
(第2時)	静岡のまつりばやしの面白さのひみつを見つけよう。	①静岡の祭りばやしは、どんな音楽でしたか？ 自分がしらない音楽だった。おどりたくなるかんじだった。 ②体験をしたり、話をきいたりして、わかったことを書きましょう。 天ツクツクツ テレツクツ のリズムをたくさん打つことができた。 面をつけておどることをはじめて知った。	
(第3時)	静岡のまつりばやしのよさをしょうかいしよう。	①今まで学んだことを思い出して、静岡の祭りばやしをしょうかいする文を書きま 静岡のまつりばやしのよさは、 もりあがるどころ です。 どうしてかという しめだいこがたくさん打っていたから です。 ②じゅぎょうで、友達がいけんをきいてなるほどと思ったことや、さいしょにまつりばやしをきいた時と 感じ方がかわったなど思うことがあれば、書きましょう。 はじめは分からなかったけれど、e君がしめ太このリズムがかわっていくと言っていたので、 気をつけてきいていたら、リズムがどんどんかわっていくことが分かったよ。	

祭りそのものに興味・関心があり、祭り囃子の鑑賞をしたことを生かして、今後の学習へつなげることができていない。次時の最初に祭り囃子の音楽へ関心を高める投げかけが必要である。

祭り囃子への関心が高まり、学習への調整を行うことができつつある。体験により、楽器の音色やリズムにも目を向けるようになってきた。

締太鼓がたくさん打っているように聴こえたのは、リズムが変わってからだと気づき、友達との対話から学びを深めている。

ワークシートの記述内容（吹き出し部分は、そこから教師が読み取ったこと）、表情や行動の観察、児童の発言から、継続的に把握したものである。

【「指導と評価の一体のための学習評価に関する参考資料p84～P85】

## ⑦「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

第1時	<p>b児は、日頃からワークシートやノートに考えを書くことを苦手としていた。書く場面では、書こうとする様子が見られなかったため、興味をもったことについて書くように声をかけた。さらに、鑑賞をしている場面の観察を丁寧に行った。しかしb児は、祭りには興味を示したものの、祭り囃子で使われる楽器の音色にあまり関心を示さなかった。</p> <p>→このままの学習状況では課題が見られ、学習を調整していくための働きかけが必要であると判断し、次時の最初に、めあての確認を行うようにした。</p>
第2時	<p>授業の最初に、めあての確認をして活動に入った。その後も継続的に観察し、体験に集中できるように声かけを行った。b児は締太鼓の体験を通して口唱歌に興味をもち、友達と一緒に楽しみながら体験に取り組んでいた。また、ワークシートには覚えた口唱歌を自分から進んで書くなど、第1時に比べ、祭り囃子に関心が向き、学習を調整しようとする様子が見られるようになってきた。</p>
第3時	<p>友達の意見から締太鼓のリズムが変化したことに気付いたようだ。それについて音楽を聴いて確かめる際、リズムが変化した部分で驚きの表情を見せ、締太鼓を打つまねをしながら聴き、友達との対話を通して学びを自ら深めていった。第1時では、<u>漠然とした聴き方をしていたため働きかけが必要であったが、体験や友達との対話から学びを深め、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとする方向に改善が見られたので、最終的に「おおむね満足できる」状況（B）と判断した。</u></p>

観察によって「努力を要する」状況(C)と判断されそうな児童の学習状況を継続的に把握し、学習の改善に向けて丁寧に児童に働きかける。

次のような児童への働きかけの例もある。

下に示したように、教師が働きかけることにより、児童が自らの学習を調整しようとする姿が見られるようになった。

【第二時】・c児は面踊りのお面そのものの面白さに意識が向き、音楽を聴かずにふざけて踊ってしまい、その姿に他の児童も影響されている状況であった。→音楽のリズムに合わせて踊っている児童を認め、よい点を他の児童に気付かせるようにした。  
・c児は次第に音楽に意識が向くようになり、リズムの変化をよく聴いて動く姿が見られ、友達の姿から学ぶことの大切さに気付くようになっていった

【「指導と評価の一体のための学習評価に関する参考資料 p84～P85」】

# ⑧指導に生かす「主体的に学習に取り組む態度」の評価

